

但シ死亡ノ場合ニハ相續人ニ於テ其手續ヲ爲スヘシ

第五章 組合員ノ權利義務

第十七條 組合員ハ組合經費ヲ負擔ス

第十八條 組合員ハ定款及定款ニ基ク諸規程ヲ遵守スヘシ

第十九條 組合員ハ總會又ハ組合會ノ決議ニ對シ異議ヲ陳フルコトヲ得
ス但シ招集ノ手續又ハ決議ノ方法若ハ選舉ノ方法カ違法ト認ムル場合
ニ限リ閉會後三十日以内ニ組長ニ申出ツルコトヲ得

前項異議ノ正否ハ評議員會ニ於テ之ヲ決ス若シ評議員會ニ於テ其申立
正當ナリト議決シタルトキハ組長ハ其事件ニ關シ更ニ總會又ハ組合會
ヲ招集スヘシ

第二十條 組合員脱退シタル場合ニハ組合財産ニ對スル權利ヲ拋棄スル
モノトス

第二十一條 組合員ハ加入ノ際手数料金貳拾錢ヲ添ヘ組合員證ノ交付ヲ
組長ニ請求スヘシ

組合員證紛失又ハ毀損シタルトキ亦同シ

第二十二條 組合員住所ヲ變更シ又ハ改名シタルトキハ手数料金拾錢ヲ
添ヘ組合員證ノ書換ヲ組長ニ請求スヘシ

第二十三條 組合員ハ毎年四月一日ヨリ十二月二十日迄ニ其處持スル組
合員證ヲ所屬事務所ニ差出シ檢印ヲ受クヘシ

第二十四條 組合員ハ其製造ニ係ル蠶種枚數ニ應シ雛形第六號ニ依リ證
票ノ交付ヲ組長ニ請求スヘシ但シ數名ノ組合員ヲ代理シテ請求スルコ
トヲ得

前項ノ證票ハ蠶病豫防法ニ依ル検査合格證印ヲ受クル前蠶種臺紙ノ裏
面ニ貼付シ消印スヘシ

第二十五條 前條ノ證票ヲ貼付セサル蠶種ハ之ヲ販賣スルコトヲ得ス

第二十六條 組合員ハ蠶病豫防法ニ依ル検査合格ノ原種ト雖モ其検査成
績有毒歩合壹割以上ノモノハ原種トシテ掃立ツルコトヲ得ス

第二十七條 組合員ハ役員又ハ組合會議員ニ當選シタルトキハ就任ヲ拒

ムコトヲ得ス但シ評議員會ニ於テ正當ノ理田アリト認ムルトキハ此限
リニ在ラス

第二十八條 役員又ハ組合會議員トナリタル組合員ハ自己ノ營業ニ關シ
役員又ハ組合會議員ノ名義ヲ利用スルコトヲ得ス

第六章 役員事務員及組合會議員

第二十九條 本組合ニ左ノ役員事務員及組合會議員ヲ置ク

一、役員 組長一名、副組長一名、理事六名(各部二名宛)評議員
八名

二、事務員 技師技手書記若干名

三、組合會議員二十名

前項ノ外組長ハ學術技藝アル者ヲ本組合ノ顧問ニ囑托スルコトヲ得

第三十條 役員又ハ組合會議員ハ名譽職トス但役員ニハ評議員會ノ決議
ヲ以テ報酬ヲ支給スルコトヲ得

第三十一條 組長、副組長及評議員ハ組合會ニ於テ組合員中ヨリ選舉シ

理事ハ組合會ニ於テ所屬部在住ノ組合員中ヨリ各部二名宛ヲ選舉ス

第三十二條 組合會議員ハ總會ニ於テ組合員中ヨリ選舉ス

第三十三條 理事ハ評議員ヲ兼ヌルコトヲ得ス

第三十四條 各部署理事ハ當選後直ニ所屬部理事二名ノ協議ヲ以テ其内一
名ノ專務理事ヲ定ムヘシ

第三十五條 前條ノ專務理事ノ氏名ハ協定後遲滞ナク組長ニ報告スヘ
シ

第三十六條 理事ハ組合地區内ト雖モ所屬部以外ニ轉住シタルトキハ當
然退職シタルモノト見做ス

第三十七條 役員又ハ組合會議員ノ補缺選舉ハ第四十二條ノ場合ヲ除ク
外改選期ヲ待ツコト能ハサル場合ニ限り隨時會議ヲ招集シテ之ヲ行フ
モノトス

第三十八條 役員又ハ組合會議員ノ選舉ハ會議出席者ノ記者連記投票ヲ
以テ之ヲ行ヒ高點者ヲ以テ當選トシ同點者ハ年長ヲ先ニシテ同年者ハ

抽籤ヲ以テ當選ヲ定ム但シ會議ノ決議ヲ以テ他ノ方法ニ依ルコトヲ得
第三十九條 役員又ハ組合會議員ノ任期ハ三年トス但シ創立總會ニ於テ
選舉セラレタル役員ノ任期ハ就任滿二年經過後ノ通常組合會迄トシ補
缺選舉ニ依リ選舉セラレタル役員又ハ組合會議員ハ前任者ノ任期ヲ繼
承ス

役員又ハ組合會議員ハ滿期再選ヲ妨ケス

第四十條 左ノ各號ニ該當スルモノハ役員又ハ組合會議員タルコトヲ得ス

- 一、本定款ニ依ル違約處分ヲ受ケタル者
- 二、禁治産者、準禁治産者、未成年者女子
- 三、復權セサル破産者及家資分散者
- 四、他府縣在住ノ者
- 五、懲役若ハ禁錮ニ處セラレタル者及舊刑法ノ重罪ノ刑ニ處セラレタル者

第四十一條 役員又ハ組合會議員ハ正當ノ理由ナクシテ辭任スルコトヲ

得ス

前項理由ノ正否ハ評議員會ニ於テ之ヲ定ム

第四十二條 役員又ハ組合會議員ノ解任ハ總會ノ決議ニ依ル

總會ニ於テ前項ノ決議ヲナシタルトキハ同時ニ其補缺選舉ヲ行フヘシ

第四十三條 事務員ハ組長之ヲ任免又ハ囑托シ其給額ハ豫算ノ範圍内ニ

於テ組長之ヲ定ム

第四十四條 組長ハ組合ヲ代表シ組合一切ノ事務ヲ統轄ス

第四十五條 副組長ハ組長ヲ補佐シ組長缺員ノ場合若ハ事故アルトキハ

其事務ヲ代理ス

第四十六條 理事ハ其所屬部ニ於ケル組合ノ事務ヲ分掌ス

第四十七條 評議員ハ組合ノ事務ヲ監査シ且ツ評議員會ヲ組織ス

第四十八條 組長副組長共ニ事故アルトキハ評議員中年長者組長ノ事務

ヲ代理ス同年者ハ抽籤ヲ以テ代理者ヲ定ム

第四十九條 技師技手ハ組長ノ命ヲ受ケ技術ニ關スル事務ヲ掌ル

書記ハ組長ノ命ヲ受ケ庶務會計ニ從事ス

第五十條 役員又ハ組合會議員退職シ其職務ヲ行フ者ナキトキハ後任者
就任迄前任者ニ於テ其職務ヲ行フモノトス

第七章 會議

第五十一條 會議ハ總會、組合會、評議員會ノ三種トシ總會ハ組合員、組
合會ハ組合會議員、評議員會ハ評議員ヲ以テ組織ス

第五十二條 總會ハ第十九條第二項ノ外組長ニ於テ必要ト認メタルトキ
之ヲ開キ本定款ニ別段ノ規定アルモノ、外組合ニ關シ重大ナル事項ヲ
決議ス但シ組合會ノ決議スヘキ事項ト雖モ之ヲ決議スルコトヲ得

第五十三條 組合會ハ通常臨時ノ二トシ通常會ハ毎年一回一月之ヲ開キ
臨時會ハ第十九條第二號ノ外組長ニ於テ必要ト認メタルトキ之ヲ開キ
本定款ニ別段ノ規定アルモノ、外組合ノ維持活動ニ關スル諸般ノ事項
ヲ決議ス

第五十四條 總會又ハ組合會ハ組長之ヲ召集ス

前項ノ召集ヲ爲スニハ少クトモ開會五日前ニ議案並ニ開會ノ日時及場
所ヲ記載シタル書面ヲ以テ通知スヘシ

第五十五條 總會又ハ臨時組合會ハ評議員又ハ組合會議員半數以上ノ連
署ヲ以テ會議ノ目的ヲ示シ開會ノ請求アリタルトキハ組長ハ其請求ノ
日ヨリ二週間以内ニ之カ召集ノ手續ヲ爲スヘシ

前項ノ期間内ニ組長カ召集ノ手續ヲ爲サ、ルトキハ請求者之ヲ召集ス
ルコトヲ得

第五十六條 總會ハ組合員組合會ハ組合會議員半數以上出席アルニ非サ
レハ開會スルコトヲ得ス但召集再度ニ及フトキハ總會ハ組合員組合會
ハ組合會議員三分ノ一以上ノ出席ニ依リ開會スルコトヲ得

第五十七條 總會又ハ組合會ノ議長ハ組長之ニ當ル但シ第五十五條第二
項ノ場合ニ於テハ召集者一人之ニ當ル

第五十八條 總會又ハ組合會ノ決議ハ本定款ニ別段ノ規定アル場合ヲ除
クノ外出席者ノ過半數ヲ以テ之ヲ爲ス可非同數ナルトキハ議長ノ決ス

ル所ニ依ル

一五四

第五十九條 評議員會ハ組長ニ於テ必要ト認メタルトキ又ハ評議員半數以上ヨリ請求アリタルトキ組長之ヲ招集ス

第六十條 評議員會ハ本定款ニ別段ニ規定アル外左ノ事項ヲ決議ス

一、組長諮問ノ件

二、官廳ノ諮問ニ答ヘ又ハ建議若ハ願伺ニ關スル件

三、組合會ヨリ特ニ委任セラレタル事項但シ監督官廳ノ認可ヲ要セサル事件ニ限ル

第六十一條 評議員會ノ議長ハ組長之ニ當ル但シ組合事務監督ニ關スル事項ヲ議スル場合ニハ出席評議員ノ互選ヲ以テ議長ヲ定ム

第六十二條 評議員會ハ評議員半數以上出席スルニ非サレバ開會スルコトヲ得ス

第六十三條 評議員會ノ議事ハ過半數ヲ以テ之ヲ決ス可否同數ナルトキハ議長之ヲ決ス

第六十四條 總會ノ決議録ニハ議長及評議員二名以上組合會又ハ評議員會ノ決議録ニハ議長及出席者二名以上之ニ署名スヘシ

第八章 會計

第六十五條 本組合ノ會計年度ハ四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル

第六十六條 組合ノ經費ハ人頭割、蠶種製造高割、及雜收入ヲ以テ之ニ充ツ

人頭割ハ組合員證檢印ノ際之ヲ徴收シ蠶種製造高割ハ證票交付ノ際其交付枚數ニ應シ之ヲ徴收ス

第六十七條 組合經費收支豫算竝ニ徴收法ハ毎年度二ヶ月前通常組合會ノ決議ヲ經ヘシ

第六十八條 經費ノ決算ハ重要物産同業組合法第十一條第二項及同法施行規則第十九條第二項ニ依リ公示又ハ報告前評議員會ノ承認ヲ求ヘシ

第六十九條 組合用務ノ爲メ旅行スル者ニ對スル旅費支給額竝支給方法ハ評議員會ニ於テ之ヲ定ム

一五五

第七十條 評議員會ノ議決ヲ經テ款内項目ノ流用ヲ爲スコトヲ得
豫備費ハ組合會ノ否決シタル費途ニ充ツルコトヲ得ス
第七十一條 現金ハ評議員會ノ指定シタル銀行ニ預ケ入ルヘシ

第九章 違約處分

第七十二條 左ノ行爲アリタルモノハ五圓以上百圓以下ノ過怠金ヲ徵ス

一、第二十四條第二項ニ違背シタル者

二、證票ヲ偽造シ又ハ再用シタル者

三、第二十六條ニ違背シタル者

第七十三條 組合員證ノ檢印ヲ受クルコトヲ怠リタルモノハ期限經過後
其過經日數ニ應シ一日金五厘ノ割合ヲ以テ過怠金ヲ徵收ス

第七十四條 違約處分ハ評議員會ノ議決ヲ以テ之ヲ定ム但シ第七十三條
ノ場合ハ此限リニ非ス

第七十五條 過怠金ノ納付ヲ怠リタル者アルトキハ組長ハ組合ヲ代表シ
テ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第十章 組合ノ印章、組合員證、證票

第七十六條 組合ノ印章ハ雛形第七號ニ依ル

第七十七條 組合員證ハ雛形第八號ニ依ル

第七十八條 證票ハ雛形第九號ニ依ル

第十一章 定款ノ變更

第七十九條 定款ノ變更ハ總會ニ於テ總組合員三分ノ二以上ノ同意ニ依
リ之ヲ決議ス

第十二章 組合ノ解散

第八十條 組合ノ解散ハ總會ノ決議ニ依ル但シ此ノ決議ヲナスニハ總組
合員ノ三分ノ二以上ノ同意アルコトヲ要ス

第八十一條 組合解散ノ場合ニハ組長及副組長清算人トナル

第八十二條 清算ノ結果剩餘財産アルトキハ解散當時ノ組合員ニ分配シ
組合財産ガ債務辨濟ニ不足アルトキハ其不足額ハ解散當時ノ組合員之
ヲ負擔ス

前項ノ分配又ハ負擔率ハ最近年度ニ於ケル組合經費負擔額ヲ標準トス
雛形第一號

化	性化	期名	稱	賞與ヲ出シタル箇所	等賞及賞品	受賞者住所氏名

右ハ拙者製造蠶種ヲ飼育シ其成繭ヲ出品シテ褒賞ヲ受ケ候ニ付報告候也
年 月 日

住 所

組 合 員 氏 名 印

組 長 宛

雛形第二號

加 入 届

拙者儀貴組合ニ加入候ニ就テハ組合定款ノ規定ヲ遵守可致依テ組合員證
交付相成度手数料金貳拾錢相添へ届出候也

年 月 日

住 所

組 合 員 氏 名 印

組 長 宛

雛形第三號

住所變更届

一、變更前ノ住所

何郡何村何番地

一、變更後ノ住所

何郡何村何番地

右ノ通變更候ニ付組合員證及其書換手数料金拾錢相添届出候也

年 月 日

組 合 員 氏 名 印

組 長 宛

雛形第四號

氏名變更届

左記ノ通氏名變更ニ付組合員證及其書換手数料金拾錢相添届出候也

雛形第九號

一寸五分
 茨城縣蠶種同業組
 合原種ノ證

一寸五分
 茨城縣蠶種同業組
 合製絲用種ノ證

		檢年月日 印
		檢所 印
		檢年月日 印
		檢所 印
		檢年月日 印
		檢所 印
		檢年月日 印
		檢所 印

雛形第八號

表
一寸五分

何年何月日交付
 茨城縣蠶種同業組合員證
 住所 氏 名

三寸

方一寸
 茨城縣蠶種同業組
 之印

方六分
 茨城縣蠶種同業組合組
 長印

方六分
 同副組長
 之印

茨城縣確氷社組合同盟會々則

總則

第一條 本會ノ目的ハ確氷社ノ組合ニシテ本縣内ニ在リテ經營セル製絲業者ニシテ專ラ品質ノ齊一ト改良ヲ計リ益々進歩發展ヲ企圖スルモノトス

會名

第二條 本會ハ茨城縣確氷社組合同盟會ト稱ス

位置

第三條 本會事務所ヲ當分水戸市確氷社水戸組事務所内ニ置ク

役員

第四條 本會ヲ統轄センカ爲メ左ノ役員ヲ置ク

一 會頭 一名

一 幹事 二名

一 理事 三名

一 臨時雇書記 若干名

但シ會計ニ關スル事務ハ會頭之ヲ掌ルモノトス

第五條 本縣内ヲ三區ニ分チ一區一名ノ理事ヲ置ク

第一區

一 東茨城郡、水戸市、西茨城郡、那珂郡、多賀郡、久慈郡、鹿島郡、

第二區

一 眞壁郡、結城郡、猿島郡、

第三區

一 行方郡、新治郡、筑波郡、北相馬郡、稻敷郡、

第六條 役員ノ任期ハ各二ケ年トシ定期總會ニ於テ會員過半數以上ノ多

數ヲ以テ會員中ヨリ選任シ書記ハ會頭及ヒ理事ノ專任ニ依ルモノトス

但シ會頭及ヒ理事ハ再選スルコトヲ得ベシ

第七條 會頭及ヒ理事ハ當分無給トス臨時雇書記給料ハ會頭理事ノ定ムル處ニ據ル

第八條 會頭及ヒ理事ハ本會事務ニ要シタル實費ヲ定期總會ニ於テ決算報告ヲナシ是レカ負擔額ヲ會員ニ配付スルモノトス

第九條 會頭ハ本會一切ノ事務ヲ整理シ理事ハ會頭不在ノトキ代理スルモノトス

會員

第十條 本會々員ハ碓氷社組合組長及ヒ理事トス

入退會

第十一條 入會セントスル組合組長及ヒ理事ハ組合名稱及所在地製絲業者氏名釜數生産額豫定等ヲ記入シ會頭宛テ申込ムベシ

第十二條 同盟組合ハ本會ノ總費ヲ分擔スルモノトス

第十三條 中途入會者ト雖トモ其年度ノ總經費ヲ平等ニ分擔スルモノトス

第十四條 同盟組合員ハ廢業ノ外退會スルヲ得ス
集會

第十五條 同盟會ハ左ノ集會ヲ開クモノトス
定期總會 臨時總會

第十六條 定期總會ハ毎年四月及ヒ九月ノ二回はヲ開キ製絲業ニ關スル事項ヲ談シ役員ヲ選定シ及ヒ事務ノ要件ヲ報告スルモノトス

但シ開會日時及ヒ會場等ハ一週間以前ニ於テ報告スルモノトス

第十七條 臨時總會ハ製絲業ニ關スル至急要件及ヒ同盟組合三分ノ二以上ノ請求ニ依リ若クハ會頭理事ノ必要ト認ムルトキ之ヲ開ク

但シ開會日時及ヒ會場等豫メ報告スルモノトス

第十八條 同盟會ノ要件其他製絲業ニ關スル學理及ヒ實驗上ノ論說寄書統計通信時事ノ狀況總會ノ決議組合ノ報告書等ヲ掲載シ同盟組合ニ分布スルモノトス

但シ新聞紙ヲ利用スルコトアルベシ

第十九條 同盟組合員中製絲業ニ關スル自他ノ發明又ハ改良法等ニシテ其利益アルコトヲ見聞シタル時ハ直チニ會頭ニ報告スルモノトス
但シ會頭ニシテ利益アリト認ムルトキハ之ヲ通知スルモノトス
會費

第二十條 同盟組合ノ經費ハ左ノ科目トシ毎年定期總會ニ於テ豫算ヲ定メ是ヲ支出ス

- 一 旅費日當
- 二 集會費
- 三 通信及報告費
- 四 雜費
- 五 豫備費

第二十一條 定期及臨時總會旅費滞在費ハ會員各自辨トス

第二十二條 經費ハ左ノ方法ニヨリ分擔スルモノトス

- 一 組合割 二分ノ一
- 一 簽數割 二分ノ一

計算

第二十三條 本會ハ毎年四月一日ヨリ翌年三月三十日迄ヲ以テ會計期間

トシ一切ノ經費ヲ計算シ定期總會ノ承認ヲ經テ各會員ニ配布ス

但シ剩餘金アル時ハ翌年度へ繰越シ不足金アルトキハ之ヲ徵收ス

會費徵集

第二十四條 會費ハ第二十二條ノ方法ニヨリ毎年定期總會ノ際徵收スルモノトス

但シ中途退會者アルモ會費ハ返戻セス

工男女取締

第二十五條 本會同盟會員製絲教婦及工男女ヲ使用スルトキハ養成ハ勿

論熟練ノ工手ト雖トモ必ス年期ヲ定メ契約書ヲ徵シ雇入ルモノトス

第二十六條 同盟會員ハ互ニ德義ヲ守リ會員年期アル教婦及工男女ヲ雇入レ使用スベカラス

第二十七條 年期明ケノ者ト雖トモ元雇主へ一應照會シ年期明ケノ證認ヲ經ル者トス

第二十八條 同盟會員中使用スル教師及ヒ工男女ノ給料手當等ハ本會ニ

計リ可成齊一ヲ主トスルコト

第二十九條 工男女賞罰ハ嚴正ヲ守ルコト

印章

第三十條 本會印章ハ當分役員ノ實印トス

帳簿

第三十一條 本會使用ノ帳簿左ノ如シ

一 同盟組合名簿 一 組合製絲家名簿

一 釜數増減調査簿 一 入退者名簿

一 金貸出納帳 一 會費支拂簿

一 判取 一 報告控

第三十二條 帳簿ハ會員ニ於テ何時ニテモ之ヲ閱覽スルコトヲ得

第三十三條 本會ハ同盟組合三分ノ二以上ノ同意ニ依リ規則變更及ヒ解

散スルコトヲ得

蠶種販賣廣告

○春蠶種白龍

○風穴蠶種大草

代價

原種用種	二十八蛾一枚	金六拾錢
全面付	百蛾一枚	金壹圓五拾錢

但多數ノ御注文ハ割引仕候

茨城縣結城郡中結城村大字佐野

扶桑館 爲我井新三郎

廣告

- 一 蠶種製造具一式
- 一 最新式霧噴器各種
- 一 消毒用頭巾
- 一 福島式桑刻器
- 一 寒 暖 計
- 一 乾 濕 計
- 一 桑 ふ る い
- 一 羽 根 箒 類
- 一 上 簇 マ プ シ 折 器
- 一 糸 網 繩 網 各 種
- 一 輕便養蠶用カルトン鉢
- 一 折込桑扱器
- 一 檢定付乾濕計
- 一 蠶具用各種
- 一 製 繩 機 械
- 其他萬荒物特別勉強仕候

土浦町熊野屋號

市川吉兵衛

蠶種製造販賣廣告

一 春蠶種 白 白 龍 玉

營業案内書ハ御申越次第送呈ス

茨城縣北相馬郡稻戸井村戸頭

聽濤館主 海老原喜右衛門

春蠶種
 白龍 一升ノ粒數 二百三十顆以內
 白玉 一升ノ粒數 二百三四十顆以內
 又昔 一升ノ粒數 二百四五十顆以內

風穴種
 日本錦 兩種共一升顆數 二百三十三顆以內
 大白龍 內ニシテ到ル處ニ於テ最モ歡迎セラル、優良種ナリ

興業館蠶種製造販賣廣告

晚秋蠶種、日本錦、大白龍 自八月十二日 迄順次製造

晚秋蠶種ニ比較的良種ニ乏シキヲ遺憾トシ最モ抗疫性ニ富メル理想的蠶種ヲ製造シ普ク養蠶家ニ提供ス多少ニ不拘御試育ヲ乞フ

茨城縣筑波郡久賀村新川(蠶飼川沿岸地)

為替振込局名 茨城縣相馬局 蠶種業 興業館 坂入 彌吉

廣告

中巢

清中巢

改良又昔

風穴白龍

同寶來

性質健全ニシテ飼育易キコト
 意ノ如シ國益ノ大王
 健全無毒ニシテ蠶業界ノ最好種殊ニ光澤優美ニシテ白雪ヲ布クガ如ク金城又昔ト雖モ遠ク此種ニ及バス天下第一品
 種類強キ事剛鐵ノ如シ如何ナル初心飼育家ト雖モ失敗ノ患ナシ
 蠶種ノ健全ハ申ス迄モ無ク且ツ貯藏法保護完全ナルヲ以テ不發生及違作等ノ患ナシ安神
 此ノ種類ハ舶來ノ寶玉ヲ飾レル如ク内國無敵ノ良品

茨城縣稻敷郡生板村

蠶種製造專門 博盛館營業部

館主 翠川榮太郎

ブヲナハ爪ハヘ蔓ノ子茄

本館ノ眞價ヲ知ラント欲スル者ハ來レ

本館ノ特色

◎桑園

本館の桑園は所謂鹿島の沙壤土にして發育良好なり水分少なく蠶體をしむるに適す

◎蠶種

本館の蠶種は種殖確實にして品質優良に性質強健にして飼育容易なれば如何なる未熟者と雖も良結果を納むるを得

◎繭

本館の繭は光澤解舒共に優良にして絲量豊富なることは世既に定論あり故に歐米機業家の嗜好に適せり

春蠶種

○又昔一升 二百二十粒内外
○白龍一升 二百二十粒内外
○國錦一升 二百五十粒内外

定價

○原種用框製 一枚金七拾錢
製絲用全面付 一枚金壹圓五拾錢
茨城縣鹿島郡中島村平泉

自疆館主

池田孫作

風穴秋蠶種

○日本錦一升 二百二十粒

定價

○原種用框製 一枚金七拾錢
製絲用全面付 一枚金壹圓五拾錢

割引

○十枚以上は一割引
○五十枚以上は二割引

健全ナル蠶種ヲ要求スル者ハ來レ

精良蠶種製造實費販賣

一春蠶種 白 龍

一實費 原種用框製一枚金七拾錢
製絲用平製一枚金壹圓六拾錢

但シ枚數ニ應シ規定ノ割引ヲナス

尙長野縣安、筑兩郡製造優良生種秋蠶種ノ取次販賣仕候間御來談被下度候也

茨城縣眞壁郡上妻村大字平方

中村館主 中村七三郎

不 良ノ蠶種ハ不 結果ニ終ラザルヲ得ズ

茨城縣新治郡家中村
興資館蠶種部

本館製造ノ蠶種ニ就テハ世既ニ定評
アレバ敢テ自畫自賛ノ贅言ヲ爲サズ
乞フ熱心ナル育蠶家各位飼育シテ本
館蠶種ノ眞價ヲ知ラレン事ヲ

春蠶種

○又昔 ○中巢
○白龍

風穴 秋蠶種

○日本錦 ○信川内
○白龍

館主坂本浪之助

【ナサ】略電

戰爭ノ様ヲ發蛾時期婦人小供デモ
容易ク蛾ヲ入レル事ノ出來
最モ完全ニシテ病毒傳染ノ患ナク
裏面ニミシン目ガアル故
敏速ヲ要スル検査ノ際他品ヨリ
手數三分ノ一然カモ乾燥モヨシ
最モ進歩セル蛾函ナリ

注文多數アル故間際ニ相成リ御注文被下候
モ間ニ合ヒ兼テ候節ハ折角ノ御引立モ水泡
ニ相成候テハ遺憾ニ御座候何卒前以テ豫メ
御使用ノ數及名入ノ節ハ名入ト御指命被下
度候萬以上四厘以上四厘五毛

製造器蛾保式場小
元賣發

村田井谷郡波筑縣城茨
所製造器蛾保式場小

精撰蠶種製造販賣廣告

春蠶種 一又中昔 一升粒數何レモ貳百四十顆内外

發蛾ハ概ネ六月貳拾五日前後御用命ハ可相成發蛾前御申越願上候

夏蠶種 一白龍 一升粒數貳百八十顆内外

風穴種 一白龍 一升顆數貳百五十顆内外

價格 春蠶種 原種用種 一枚 金七拾錢
夏蠶種 製絲用種全面附 一枚 金壹圓五拾錢
風穴種 何レモ蟲質強健飼育容易絲質優良御飼育ハ御申込次第隨意

茨城縣新治郡中家村佐野子三十九番地

蠶種製造者 佐久良館 安達源太郎

精良蠶種製造販賣稟告

春蠶種 一類 改良白玉、白龍 全面附金壹圓六拾錢原種用金七拾錢

夏秋蠶用 風穴種 一類 大和錦、白龍 全面附金壹圓五拾錢原種用金六拾錢
割代類 引價類 春夏秋種共枚數ニヨリ割引ノ法アリ

前掲ノ蠶種ハ無蠶蛆地ナル利根川沿岸ノ良桑ヲ以テ
飼育シ抗疫性完全無毒ナル蠶種ニ御座候多少共御試
育ノ榮ヲ賜リ度右拜告仕候

茨城縣稻敷郡本新島村西代

平山初太郎蠶事部

蠶種製造販賣廣告

- 一 春 蠶 種 白 玉
- 一 風 穴 秋 蠶 種 大 和 錦
- 一 四 化 蠶 種 大 角 又

每年八月二十五日ヨリ同月三十一日迄製造

營業案内書ハ御申越次第送呈ス

茨城縣北相馬郡稻戸井村戸頭

彌生館主 長塚 彌助

蠶種製造廣告

一 春 蠶 種 又 白

龍 一 升 順 數 貳 百 參 拾 粒
 昔 一 升 順 數 貳 百 參 拾 粒
 龍 一 升 順 數 貳 百 參 拾 粒
 昔 一 升 順 數 貳 百 參 拾 粒

◎發蛾豫定日二種共六月二十五日前後

二 夏 化 種 性 大 和 錦

一 升 順 數 貳 百 四 拾 粒
 發蛾豫定日六月廿日前後

風 穴 種 兼 用 中 巢

一 升 順 數 貳 百 參 拾 粒
 出 穴 隨 意

定價

普通製 一枚 壹圓五拾錢
 原種用 一枚 六拾五錢

割引

創業ヲ祝スル爲メ本年ニ限り貳割引多數御注文ノ方ハ
 特ニ御相談可申候

新治郡榮村大字大六十四番地

蠶種製造業 榮 東 館
 館 主 大 山 隆 治

蠶種製造販賣廣告

○一化性 中巢

○同 又昔

右ハ本館ニ於テ特選セル優良種類ニシテ

第一 蟲質強健ニシテ飼育極メテ容易ナリ

第二 絲長八百回ニ達スルアリ

第三 同功繭量ク未ダ壹割以上ニ達セシコトナシ

第四 繭審査各項目ニ就イテ優逸ノ成績アリ

○見本繭及價格ハ御照會ニ依リ回答ス

茨城縣新治郡中家村佐野子

坂本哲

春蠶種改良又昔

蟲質強壯、繭質優良、種類統一ニ理想的ナル

完全の蠶種

定價 全面付一枚 金壹圓五拾錢
原種用一枚 金七拾錢

尙多數注文ハ割引ス

茨城縣新治郡藤澤村虫掛

田中清之助

電略 夕セ

精撰無毒健全蠶種製造

茨城縣新治郡中家村飯田

宮崎忠彌

○一化性中巢

本館製造ノ中巢ハ、蟲性ノ强健ナルガ特色トスル所ナル故ニ卑濕ノ地方寒暖ノ變化急劇ナル場所又ハ飼育ニ不熟練ノ者ト雖モ必ス豊作スル事ヲ保證ス今ヤ蠶絲業界ハ眞ニ革命ノ時期タル、學界、實業家共ニ强健ニシテ、絲尺長ク、解舒良好ニシテ、類節少ナク、而シテ光澤ノ鮮麗ナル品種ノ選出ニ苦心ス、我敢テ喋々其美ヲ誇説セスト雖モ世ノ定評既ニ理想ノ産繭ト稱セラル。

褒賞受領

愛知縣主催第拾回於關西府縣聯合共進會

右受賞壹週年祝賀

爲本誌愛讀者ニ限リ弊館製造ノ春

蠶種左ノ實費ニテ分讓可仕候間御希望ノ諸君ハ御試育被下度候敬具

○種類

春蠶。白龍

○實費價額

原種用框製壹枚金七拾錢

○割引法

拾枚以上貳割引共同團體又ハ其他ノ方法ニテ多數註文ニ對シテハ特別割引法アリ

○送種費

送種費ハ一切弊館ノ負擔

○指爲替局

北相馬郡山王郵便局宛

茨城縣筑波郡三島村字中島

博香館 橫張 靜雄

精撰蠶種製造販賣

○又昔	一升	二百四五十顆
○改良又昔	一升	二百五六十顆
○中巢	一升	二百三四十顆
○白龍	一升	二百五六十顆

右ハ弊館ニ於テ數年來孰モ改良ニ改良ヲ加ヘタル者ニテ其特色ハ比較的經濟向キノ良種類タルニアリ其如何ニ蟲性強健ニ飼育易ク且食桑量ニ比シ收繭絲量ノ豊富ナル既ニ定評アリ多少ニ拘ハラズ御飼育ヲ願ハゞ果シテ其優良種タルヲ認メラルベク下存候

茨城縣鹿島郡中島村大字深芝

向上館 小岩井文五郎

原種用種製造販賣廣告

春蠶種 白龍

一枚 金六拾錢

秋蠶種 白玉 信川内

多數ノ御買上ゲニハ規定ノ割引仕候間御照會被下度候也

茨城縣筑波郡菅間村大字洞下

飯村 飯村 清重
七平

大日本蠶絲會茨城支會
品評會壹等賞受領

申込ヲ後レテ悔ヲ殘スナ

蠶種販賣廣告

春蠶種

白龍、中巢、白玉

茨城縣稻敷郡金江津村片卷

蠶種業 秋山松之輔

飼ヒバ當ル理想ノ蠶種

蠶種製造販賣廣告

春蠶種之部

白龍 繭形長大色澤純白、絲質優美、蟲性强壯飼育容易ニシテ解舒宜敷最良種ナリ(撰別繭壹升貳百五十拾顆位)

青熟巢 繭形中長形ニシテ色澤絲質蟲性飼育其他前同様ニシテ製絲ニ適當ノ良種ナリ

風穴秋蠶之部

白龍 繭形長大色澤青白絲質優良蟲性强壯飼育容易ニシテ解舒良好ナル種類ナリ

代價 原種用一枚金七拾錢 同上特製一枚金八拾錢 製絲用全面付五分付七分付不拘卵量一匁ニ付金貳拾錢

附言 共同組合及多數ノ購入ノ御方へ特別割引可仕候

茨城縣新治郡石岡町大字染谷九番地

旭昇館 比氣伊勢松

新治郡共進會蠶種一化性二等賞狀受領

健全免疫性
豐作請合
春蠶種豫約販賣廣告

春蠶種

青熟中巢

改良又昔

秋蠶種風穴

開拓丸

種ヶ島

定價 原種用種 (一枚金七拾五錢)
製絲用種 (一枚金壹圓八拾錢)

但シ毎年七月二十五日迄ノ豫約申込ニ對シテハ相當割引ノ規定アリ豫約申込ノ際ハ代金ノ二割以上ヲ添ラルヘシ

蠶種製造業 茨城縣新治郡栗原村大字上野 豐浦館 館主渡邊禎四郎

精撰蠶種洽告

春

長巢又昔 大巢又昔
鹽原又昔

二化性風穴

秋蠶 大和錦 日本錦
大白龍

一化性風穴

秋蠶 中巢 大又

特別割引價格 原種用 壹枚 金五拾錢
製絲用 壹枚 金壹圓貳拾錢
全面付

茨城縣新治郡中家村字飯田二十六番地

家滿善館 宮崎喜子松

蠶種製造販賣廣告

一 春蠶種

白 龍

定價其他ハ御照會次第
詳細御返事可申上候

一 秋蠶種

大白龍

發蛾期七月二十日ヨリ

一 風穴種

大白龍

八月末日迄隨時出穴

右孰レモ改良ニ改良ヲ加ヘタル良種ニシテ其特色
アルコトハ世既ニ定評アリ多少ニ拘ハラズ御試育
アラバ果シテ其優良ナルコトヲ認メラルベキハ更
ニ疑ヒテ容レザルナリ

茨城縣北相馬郡布川町

久保田仙之助

鹿 島 産

健全無毒 蠶種製造販賣廣告

春 蠶 種

中巢 壹樹 二百三四十粒
白玉 同 二百五六十粒
青熟 同 二百四五十粒
又昔同 二百五六十粒

風 穴 種

白龍 二百四五十粒
青熟 二百三四十粒

多化性 四化

從八月二十五日
至九月一日
(每日發蛾)

將來安心購入シ得ルハ鹿島産
第一蠶種製造ニ適地鹿島郡南
部ノミニ何千町歩ト云フ無限
ノ地アリ空氣流通宜敷ハ天下
無比海産肥料ニ富ミ各蠶種家
ノ大敵ナル蛆害霜害水害ノ三
敵有ルモ更ニ其害敵ヲ不受ハ
鹿島産アルノミ是安心シテ購
入シ得ト申モ過言ニ在サル也
茨城縣鹿島郡高松村大字平井
蠶種製造者

小山井萬作

本館製造ノ蠶種ハ繭形齊一絲
量豊富ニシテ色澤優美蟲質ノ
强健ナルハ本館製造蠶種特色
トス

受
大日本蠶絲會茨城支會

領 品第一會 杯木組三賞等二

風穴川錦 (長大巢) 一升 二百三十顆内外
種 青熟 (中巢) 一升 二百五十顆内外

春蠶白龍 (長大巢) 一升 二百三十顆内外
種 又昔 (長大巢) 一升 二百五十顆内外

○繭質豐大絲量豐富而モ飼育容易ニシテ同功繭少キハ本館ノ特色ナリ

代價 全而平附一枚 金壹圓五拾錢
原種用一枚 金六拾錢
割引 平附十枚以上原種用二十枚以上一割引
郵便 爲替ハ結城局、御拂込ノ事
茨城縣結城郡上山川村

蠶種製造人

森田館主 森田平吉

◎桑苗木各種製造販賣致シ候間多少ニ不拘御用命仰付ラレ度願上候敬具

蠶種製造販賣廣告

一 春蠶種 一又昔 玉

一 風穴秋蠶種 青熟

一 四化蠶種 大角又 每年八月二十五日ヨリ同月三十一日迄製造

一 生種秋蠶種 長野縣ヨリ取次販賣

營業案内書ハ御申越次第送呈ス

茨城縣北相馬郡稻戸井村戸頭

下村竹次郎

精良蠶種販賣廣告

又白 昔 龍 姬 白

平付壹圓五拾錢

原種用六拾錢

多數購入ノ場合ハ相當割引ヲナスヘシ

東茨城郡川根村

道川辰吉

天狗風穴

謹告

○春蠶種貯藏依托受付ハ十一月ヨリ翌年一月未日マテトス

○夏秋蠶種ハ産卵後四日以内ノモノニ限り貯藏依托ノ受付ヲナシ廿日以内ノ貯藏ニ應ス

○出穴ハ七月末日マテトス

○貯藏料 春蠶風穴ハ廿枚以下金四錢其以上ハ枚數ニ應シ規定ノ割引ヲナス

茨城縣筑波郡小田村大字山口

天狗風穴蠶種貯藏所

電信略號「テシク」

精撰蠶種製造販賣廣告

春蠶種 又白龍 一升粒數何レモ 貳百七八拾顆內外

風穴 白龍 一升粒數貳百三四十顆內外

價格
春蠶種 原種用種 一枚金七拾錢
風穴種 原種用種 一枚金六拾錢
製絲用種ハ製造セズ

茨城縣新治郡斗利出村字高岡一一六番地

蠶種製造者 高櫻館 櫻井市太郎

群馬縣主催聯合共進會褒狀受領

壹蛾撰 理想的 蠶種製造

春蠶種 白龍、白玉、又昔

夏蠶種 日本錦

秋風蠶種 日本錦

茨城縣北相馬郡六鄉村農會附屬

原種 專門 獎業館 小泉德太郎

繭質優良飼育容易尤モ同功繭少ナキ

春蠶種白玉

定價

全面付 一枚 金壹圓五拾錢
原種用 一枚 金七拾錢

多數注文ハ割引ス

茨城縣新治郡藤澤村

田中廣吉

電略(夕ヒ)

大日本蠶絲會 一等賞 茨城支會 領受

理想的蠶種ノ提供

秋風	夏	春
蠶	蠶	蠶
種穴	種	種
白	白	白
龍	龍	玉

各種共育蠶家ノ理想ニ背カサル
優良種ナルヲ以テ不拘多少御試
育ノ榮ヲ賜ハラシムトヲ希望ス

茨城縣稻敷郡十倉島村清久島(利根川沿岸地)

白玉館 田丸庄三郎

優賞受領

大日本蠶絲會茨城支會第一回品評會
群馬縣主催一府四十縣聯合共進會

茨城縣行方郡香澄村大字牛堀

湖東館 高橋真澄

弊館製造ノ蠶種ハ霞浦沿岸砂礫地ニ肥培セシ良桑ヲ以テ多年ノ經驗ニ依リ飼育セシ健全無毒ノ良種ニシテ何レモ比類ナキ特徴ヲ有シ繭形絲質光澤縮皺共ニ優美理想的改良種ニシテ各製絲家ノ好評アリ、且ツ飼育容易ト同功繭少キトハ弊館ノ誇リトスル所乞フ多少ニ不拘御飼育アラシコトヲ

○春蠶種白龍

一升二百二十粒改良又昔一升二百四五十粒

○風穴秋蠶種

五大洲一升二百二十粒白龍一升二百三四十粒

價格

原種用一枚六十錢平付七分附一枚壹圓五拾錢多數ノ御注文及共同購入ハ特ニ御相談ニ應ズ

明治四十四年十一月八日

印刷

明治四十四年十一月十一日

發行

編輯者

一色芳藏

茨城縣水戸市大字上市備前町二十七番地

印刷者

島連太郎

東京市神田區美土代町二丁目一番地

印刷所

三秀舍

東京市神田區美土代町二丁目一番地

行所

大日本蠶絲會茨城支會

於日英大博覽會金牌受領

▼
一化性
春蠶種
白龍
(品種純粹)

風穴蠶種
五大洲

代價

- 一特別原種用框製(廿八蛾付)壹枚代金壹圓
- 一原種用框製(廿八蛾付)壹枚代金八拾五錢
- 一製絲用平製(百蛾付)壹枚代金貳圓

茨城縣真壁郡關本町郵便管區平方

豐蠶館
渡邊豐八郎

又昔ハ何故ニ全國ノ種類中七割ノ大勢ヲ占メテアルカ

日進館蠶種製造廣告

○天與ノ桑園ハ本館ニアリ

本館ノ桑園ハ太平洋沿岸ニ數丁歩ノ桑園ヲ有シ土地高燥ニシテ空氣清爽若カモ砂礫土壤ノ混ゼル砂質ノ地ニ桑園ヲ拓キ專ラ精良ナル蠶種ノ製造ニ勉ム

○春蠶種 (長巢又昔) (純粹又昔) 壹升貳百三十粒 壹升貳百四五十粒

○風穴蠶種日本錦 壹升貳百貳十粒

兩種共品質強健ニシテ免疫力ニ富ミ絲量豐富絲質優美ナレハ繭質統一タル理想ノ要件ヲ具備セリ

蠶種代價

製絲用全面付一枚金壹圓六十錢、無毒原種一噸貳錢五厘共同購買又ハ多數購入ノ向ヘハ特ニ割引御相談可仕候委細照會アレ

道順

有名ナル別格官幣大社鹿島神社ヨリ東方約一里土浦佐原銚田銚子ヨリ汽船ノ便アリ鹿島ヨリ道路平坦馬車ノ便アリ

茨城縣鹿島郡高松村大字平井六八

日進館蠶種業大宮邦三郎

常陸國鹿島郵便局區内 電信略號(クニ)

又昔ハ何故ニ繭質統一ノ品種豫撰ニ當リ呼ビ聲高キカ

緒言

夫レ蠶業ノ隆替ハ是ヲ大ニシテ國家經濟ニ小ニシテ農業經濟ノ消長ニ至大ノ關係ヲ有ス本縣ノ地勢風土ハ此重要品ヲ生産スルニ適シ現在繭ノ生産額十三萬二千八百八十石ニ達シ生産額ノ多キ本邦第八位ヲ占メ既往十ヶ年間ニ於テ五割一分ヲ増加ス其ノ増加率ノ大ナル殆ト他ニ其ノ比ヲ見サルナリ尙將來ヲ案スルニ養蠶戶數ニ將タ又桑園ノ擴張ニ發展ノ餘地頗ル多ク今ヤ縣是調査結了シ蠶絲業ニ於テ今後十ヶ年間ニ現在ノ三倍則チ二千八百餘萬圓ノ生産額ニ達セシメントス而シテ是カ目的ヲ達セシムルニ

猿 北 水
島 相 戶
計 市

一六 一五 一三 六

四六 四三〇 三三 七四五九

四二二 三三三 四七 七三三

一〇四

精良 原種用蠶種販賣廣告

◎春 蠶 種 名 稱 自 龍
◎風穴 秋 蠶 種 名 稱 大 和 錦
◎代 價 春蠶種原種用(二十八蛾付) 一枚七拾錢
秋蠶種原種用(二十八蛾付) 一枚六拾錢

多數ハ割引ノ御相談ニ應ズ
代金拂込ナキ御注文ハ御斷リ

本館製造ノ蠶種ハ霞ヶ浦沿岸大氣流通ノ砂礫地ニ栽培セル良桑ヲ以テ
館主ガ多年經驗セル種繭飼育法ニ依リ得タル良繭ヨリ採種スルヲ以テ
蠶質強健飼育容易絲質優美絲量豊富ノ抗性蠶種ナリ多少ニ拘ラズ御
試育アラントラセテ

茨城縣行方郡立花村大字羽生
蠶種業 川崎長太郎
共榮館

茨城蠶種讓渡廣告
百蛾金壹圓五拾錢



本場 茨城縣筑波郡田水山村大字山木
蠶種製造者 日下部安次郎

參考調查

計リ可成齊一ヲ主トスルコト

第二十九條 工男女賞罰ハ嚴正ヲ守ルコト

印章

第三十條 本會印章ハ當分役員ノ實印トス

帳簿

第三十一條 本會使用ノ帳簿左ノ如シ

一 同盟組合名簿 一 組合製絲家名簿

一 釜數増減調査簿 一 入退者名簿

一 金錢出納帳 一 會費支拂簿

一 判 取 一 報 告 控

第三十二條 帳簿ハ會員ニ於テ何時ニテモ之ヲ閱覽スルコトヲ得

第三十三條 本會ハ同盟組合三分ノ二以上ノ同意ニ依リ規則變更及ヒ解

散スルコトヲ得

蠶種販賣廣告

○春蠶種白龍

○風穴蠶種大草

代價

原種用種 三十八蛾一枚 金六拾錢
全面付 百蛾一枚 金壹圓五拾錢

但多數ノ御注文ハ割引仕候

茨城縣結城郡中結城村大字佐野

扶桑館 爲我井新三郎

266
595

行所

大日本蠶絲會茨城支會

明治四十四年十月八日
明治四十四年十一月七日

印刷
發行

編輯者 一色芳藏

印刷者 島連太郎

印刷所 三秀舍

茨城縣水戸市大字上市備前町二十七番地
東京市神田區美土代町二丁目一番地
東京市神田區美土代町二丁目一番地

優賞受領

大日本蠶絲會第一回出品評會
群馬縣馬場郡香澄村大字牛堀
茨城縣四十支會聯合共進會

茨城縣行方郡香澄村大字牛堀

湖東館 高橋眞澄

弊館製造ノ蠶種ハ霞浦沿岸砂礫地ニ肥培セシ良桑ヲ以テ多年ノ經驗ニ依リ飼育セシ健全無毒ノ良種ニシテ何レモ比類ナキ特徴ヲ有シ兩形絲質光澤縮絨共ニ優美理想的改良種ニシテ各製絲家ノ好評アリ且ソ飼育容易ト同功爾妙キトハ弊館ノ誇リトスル所也フ多少ニ不拘御飼育アラシコトヲ

○春蠶種白龍 一升二百三十粒改良又昔一升二百四十粒

○風穴秋蠶種 五升三百四十粒
原種用一枚六十錢至行七分附一枚壹圓五拾錢
應數ノ御往來及共同購入ノ時一御相談ニ

價格